

第 16 回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 庭園部会

日時：平成 29 年 11 月 27 日（月）10:00～12:00

場所：名古屋城西之丸会議室

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ及び名勝追加指定について
- 3 名古屋城二之丸庭園の平成 29 年度発掘調査成果について ……資料 1
- 4 名古屋城二之丸庭園の平成 30 年度予定の発掘調査について……資料 2
- 5 名古屋城二之丸庭園の平成 30 年度予定の工事計画について……資料 3
- 6 その他
- 7 閉会

第 16 回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 庭園部会 出席者名簿

日時：平成 29 年 11 月 27 日（月）10:00～12:00

場所：名古屋城西之丸会議室

（敬称略）

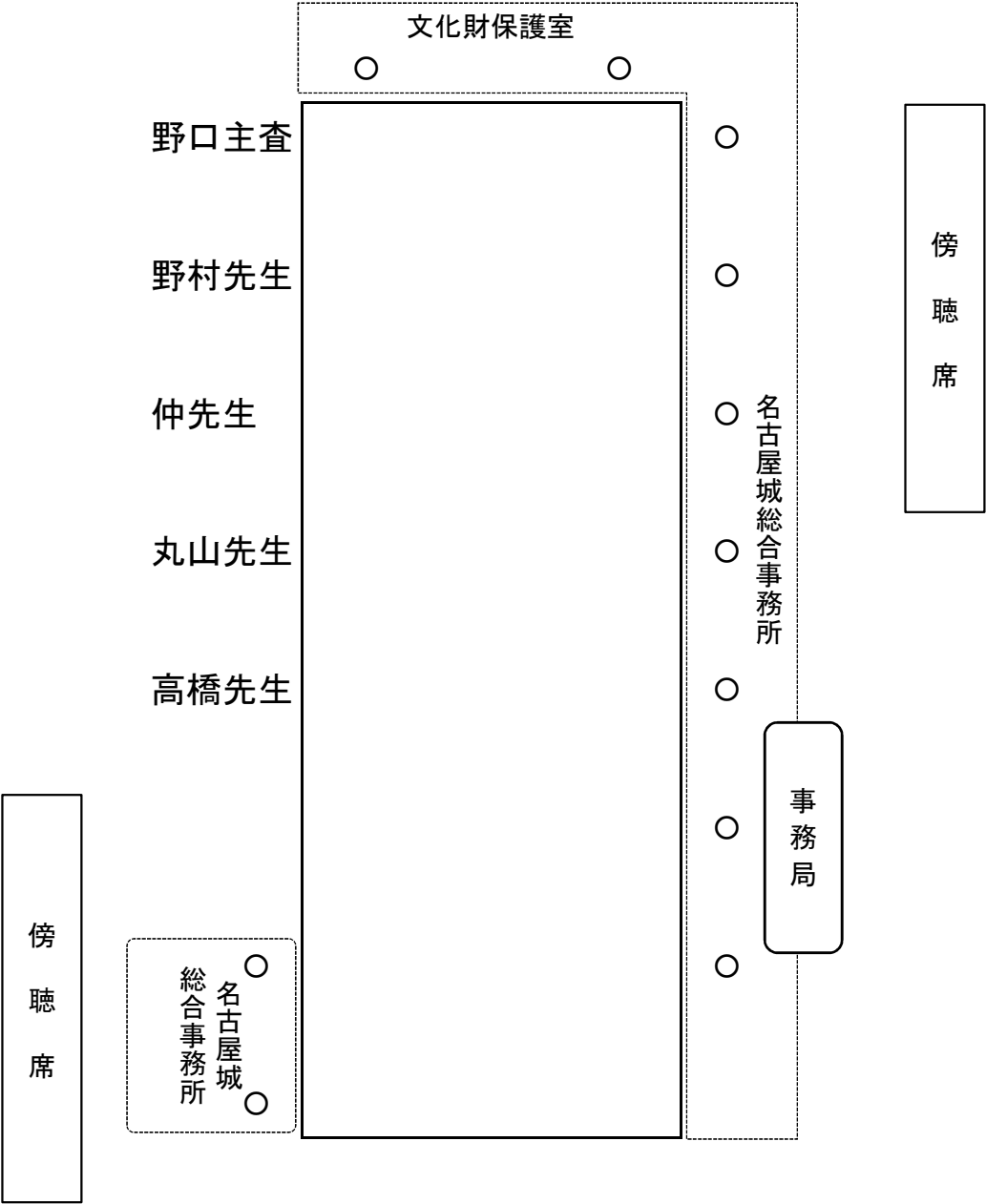
■構成員

氏 名	所 属	備考
丸山 宏	名城大学教授	座長
仲 隆裕	京都造形芸術大学教授	副座長
高橋 知奈津	奈良文化財研究所研究員	構成員

■オブザーバー

氏 名	所 属
野口 哲也	愛知県教育委員会生涯学習課 文化財保護室主査
野村 勘治	有限会社 野村庭園研究所

席配置表



平成29年度名勝名古屋城二之丸庭園発掘調査成果

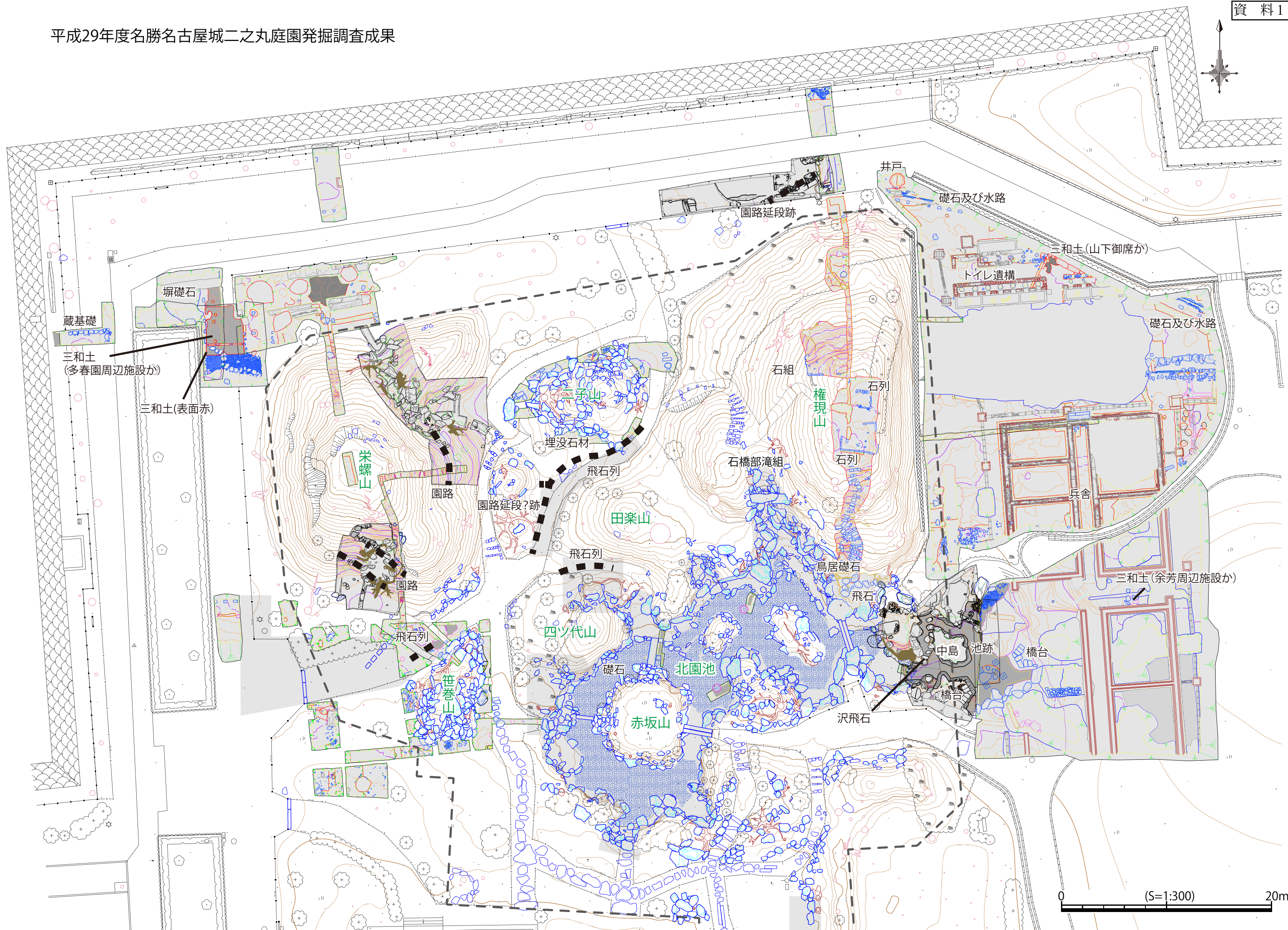




写真1 栄螺山東側園路延段?跡検出状況 北西から



写真2 栄螺山東側園路延段?跡(北部)検出状況 東から



写真3 栄螺山東側園路延段?跡(北部)検出状況 西から



写真4 栄螺山東側園路延段?跡(南部)検出状況 東から

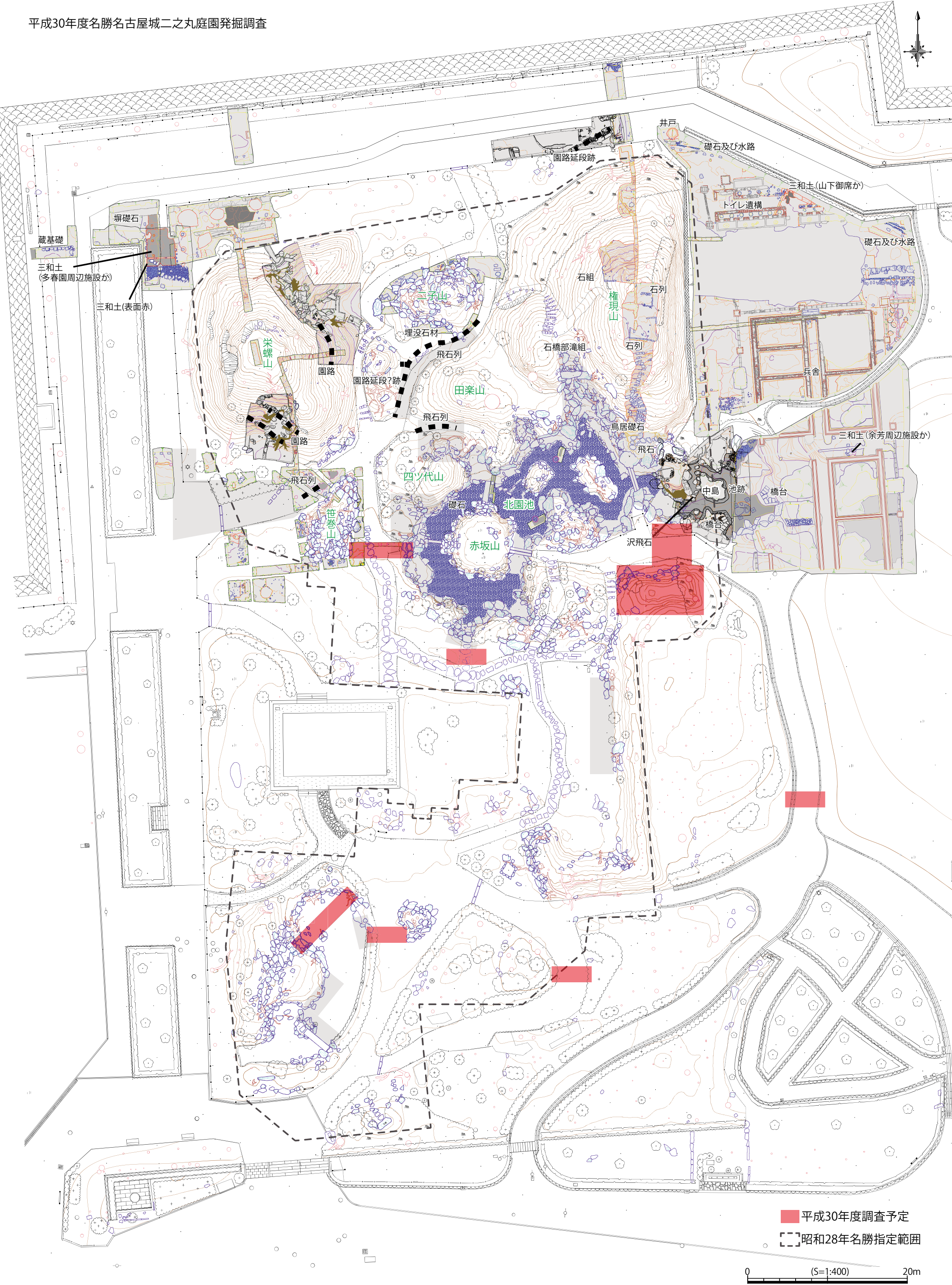


写真5 栄螺山南側園路飛石検出状況 西から



写真6 栄螺山南側園路飛石検出状況 上が北

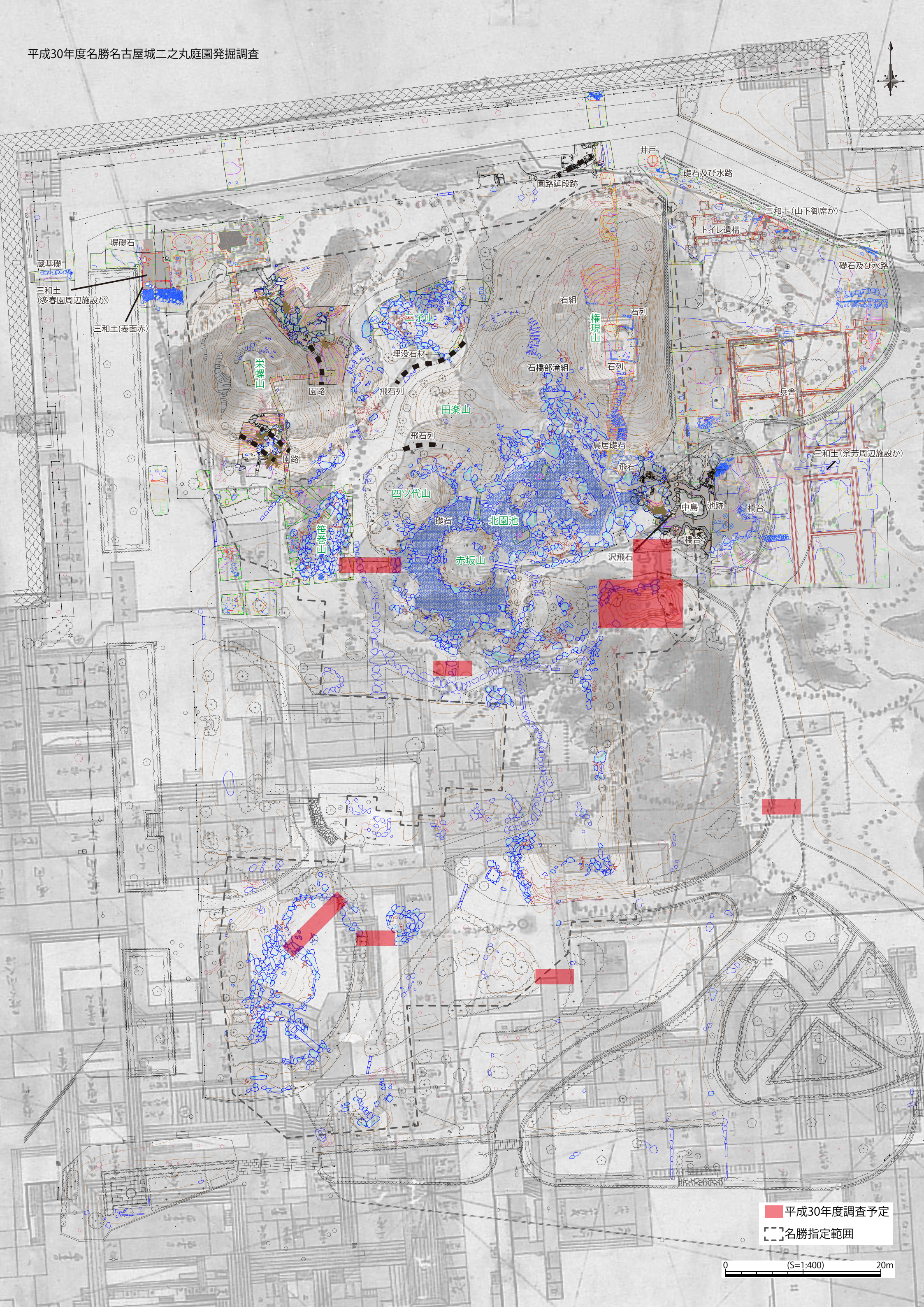
平成30年度名勝名古屋城二之丸庭園発掘調査



平成30年度調査予定

昭和28年名勝指定範囲

0 (S=1:400) 20m

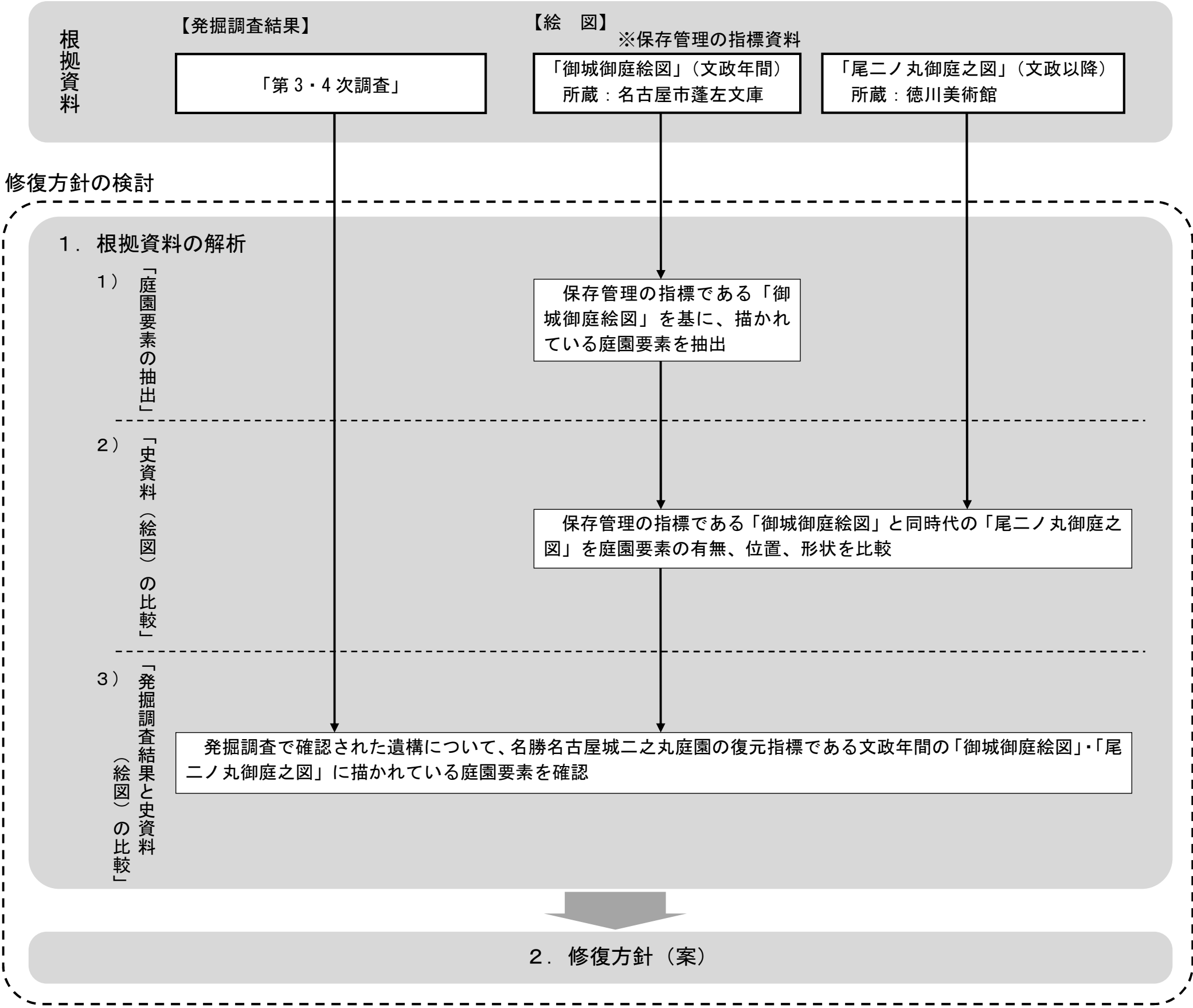


平成30年度調査予定
名勝指定範囲

0 (S=1:400) 20m

名勝名古屋城二之丸庭園北御庭園池の東護岸と余芳周辺の修復について
修復方針の検討手順

【東護岸と余芳周辺の修復の検討フロー】



1. 根拠資料の解析

1) 庭園要素の抽出

東護岸と余芳周辺について、名勝名古屋城二ノ丸庭園の復元指標である文政年間の「御城御庭絵図」から地割及び庭園要素を抽出する。

【東護岸と余芳周辺の庭園要素一覧】

庭園要素				備考
分類①	分類②	分類③	分類④	
東護岸	池泉	石組護岸		
		中島		
		洲浜		
		沢飛び石		
		木橋(太鼓橋)		
		その他の橋		
		階段		
		構造物	灯籠	
		植物	木本類	
			地被類	
余芳園地	余芳(建造物)			
	余芳周辺の園地	飛石、延段		
		余芳周辺の築山と石組		
		石組		
		構造物	余芳の手水	
			余芳西側の手水	
			枝折戸	
			灯籠	
			柵	
		植物	木本類	
			地被類	
		周辺園地	飛石、延段	
石組				
構造物	灯籠			
植物	木本類			
	地被類			

2) 史資料（絵図）の比較

東護岸と余芳周辺について、名勝名古屋城二ノ丸庭園の復元指標である文政年間の「御城御庭絵図」と、同時代の「尾二ノ丸御庭之図」を比較する。

※（○）は絵図の位置に対応

①東護岸

- 護岸、中島、洲浜、飛石、木橋の形状や位置については、2つの絵図では大きな違いは見受けられない。
- 洲浜部分の護岸石の一部の範囲が異なる。(A)
- 「御城御庭絵図」には、池周辺の一部及び中島には桜と思われる樹木が描かれているが「尾二ノ丸御庭之図」には描かれていない。(B)

②余芳園地

- 余芳の平面構成や周辺は、2つの絵図では大きな違いは見受けられない。
- 「尾二ノ丸御庭之図」には、余芳の北東角に縁側の様な形状が描かれているが、「御城御庭絵図」には描かれていない。(C)
- 余芳の北側外周は、「御城御庭絵図」より「尾二ノ丸御庭之図」の方が広く描かれている。(D)
- 「御城御庭絵図」には、余芳西側に枝折戸が3箇所描かれているが、「尾二ノ丸御庭之図」には、南側の枝折戸のみ開いている状態で描かれてる。その他2カ所の枝折戸は、門柱のみ描かれているが開いている表現と思われる。(E)

③周辺園地

- 周辺園地は、2つの絵図共に、飛石、延段が描かれており大きな違いは見受けられない。
- 余芳北側の園路について「御城御庭絵図」と比べ「尾二ノ丸御庭之図」では北側に大きく湾曲した形状で描かれている。(F)
- 権現山に至る園路の飛石範囲等の表現（飛石の有無や階段等の表現）が2つの絵図では異なる。(G)



「御城御庭絵図(文政年間)」(東護岸、余芳周辺拡大)

所蔵：名古屋市蓬左文庫

3) 発掘調査結果と史資料（絵図）の比較

東護岸と余芳周辺の発掘調査で確認された遺構について、名勝名古屋城二ノ丸庭園の復元指標である文政年間の「御城御庭絵図・尾二ノ丸御庭之図」（以下絵図）に描かれている地割及び庭園要素を確認する。

①東護岸 ※（○）は絵図・図面の位置に対応

●一部石組護岸が確認されないが、絵図で描かれている形状の中島を確認した。（A）

●木橋の南側に、絵図に描かれている石組護岸を確認した。（B）

●絵図に描かれている池の東側の洲浜について、発掘調査において円礫群を確認した。洲浜の一部と想定される。（C）

※水際に寄ることが出来た構造であったことが想定できる。

●絵図に描かれている、池の南端部の木橋（太鼓橋）について、発掘調査では橋脚本数が異なるが、描かれた位置で確認した。（D）

●絵図に描かれている中島の西側の沢飛び石を発掘調査で確認した。（E）

●絵図に描かれている沢飛び石の西側の出島形状の石組護岸を発掘調査で確認した。（F）

●池底や池周辺にはタタキを発掘調査で確認した。

②余芳園地

●絵図に描かれている余芳の南側の手水について、発掘調査において手水の一部と思われる鉢状の構造物（タタキと石で構成）を確認した。（G）

※絵図で描かれている余芳は、発掘調査で確認された手水の北側に設置されていたが、後年の改変により位置等は不明。

※余芳は、移築され失われているが、名古屋市に寄贈され、解体工事及び建物調査が実施され、部材等は、名古屋城内に保管されている。名古屋城二之丸庭園余芳現存解体部材調査その他業務委託調査報告書において、復元意匠案がまとめられている。

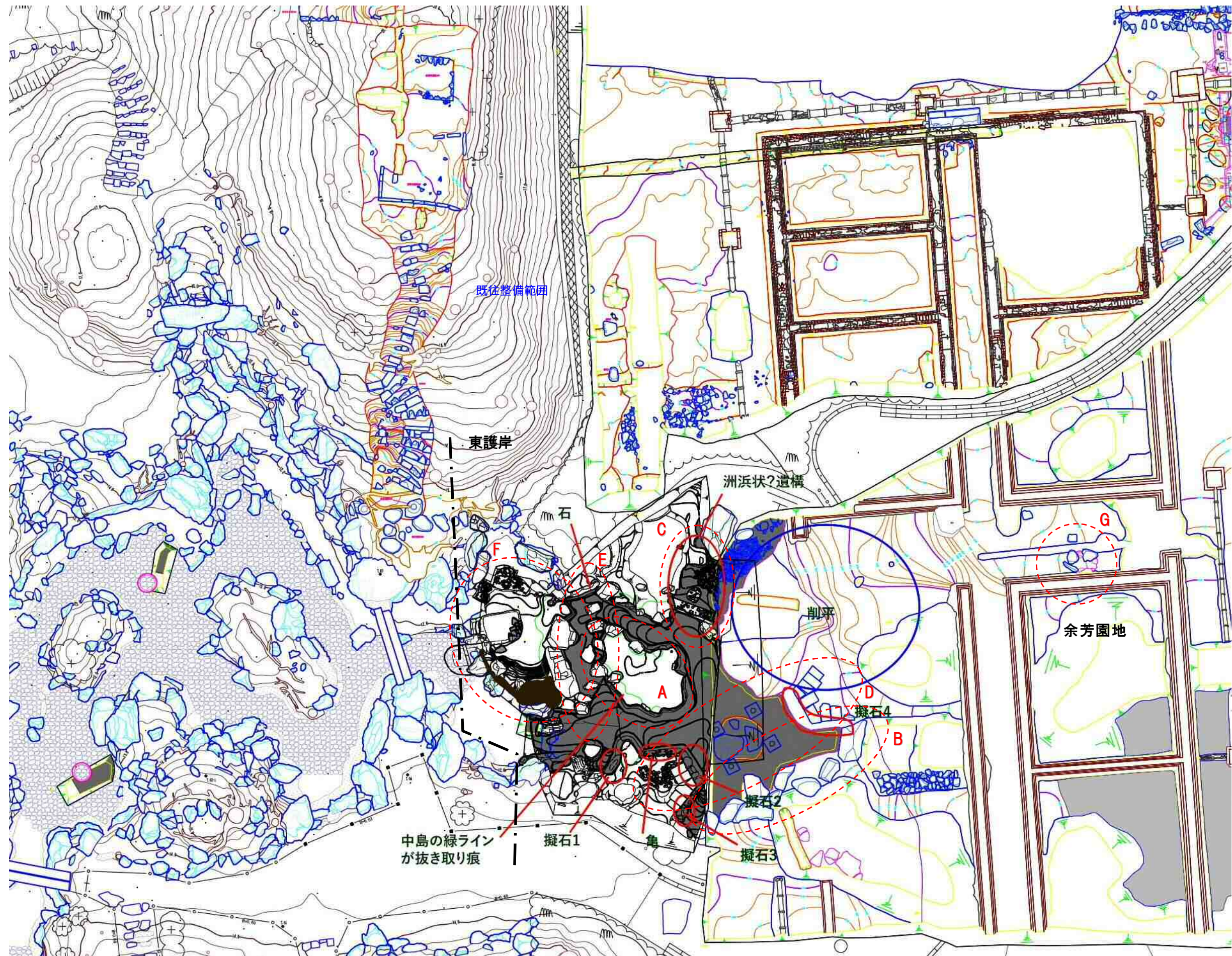
※その他、絵図に描かれている余芳周辺の構造物は、後年の改変により発掘調査では確認されない。

③周辺園地

○絵図に描かれている東護岸や余芳周辺の飛石や植栽は、後年の改変により発掘調査では確認されない。

④その他

○東護岸の北側の権現山周辺は、発掘調査結果を踏まえ整備が行われている。



発掘調査結果平面図（第3・4次調査） S=1 : 150



発掘調査結果平面図（第3・4次調査のオルソ画像）



護岸の遺構 亀の遺構



護岸の遺構 洲浜状?遺構



護岸の遺構 擬石 1



護岸の遺構 擬石 2(木橋橋台付近)



護岸の遺構 擬石 3



護岸の遺構 擬石 4

発掘調査写真（第3・4次調査）

2. 修復方針（案）

1）基本的な考え方

○東護岸と余芳周辺の修復は、「復発掘調査結果に基づき、御城御庭絵図に描かれている庭園要素を参考に整備」する。

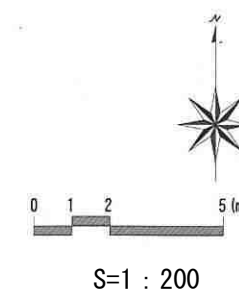
○池への水張は、既往史資料（古写真）において滞水してことが確認され、また発掘調査では池底のタタキ表面に黒い泥層が数センチ堆積していることを確認した。このため、当時は水張はされていることが確認されるため、修復は水張を行うことを前提として検討を進めることとする。

※平成 30 年度整備は、本修復案に基づき、実現の可否、整備予算を踏まえ行う。

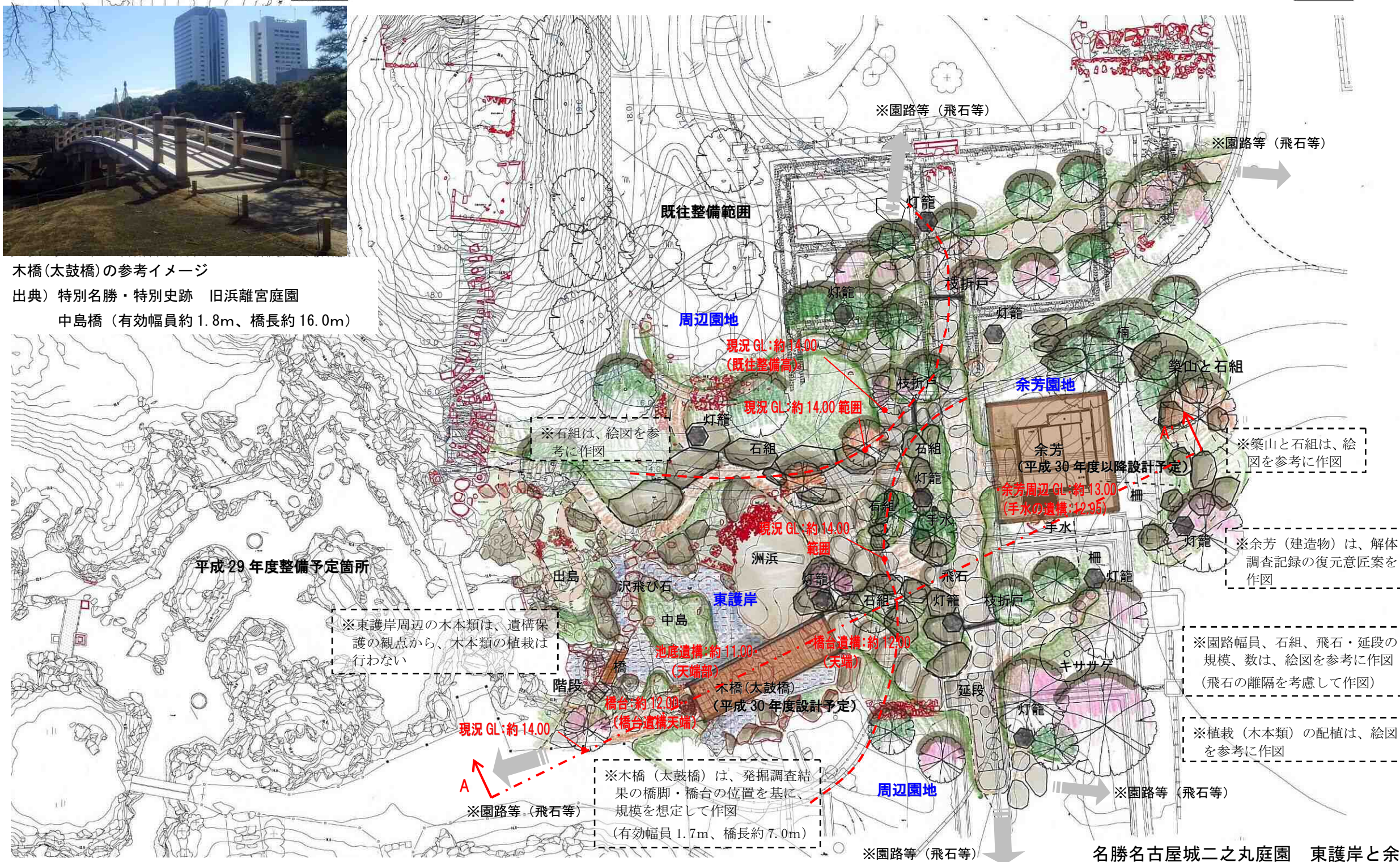
2）庭園要素ごと根拠資料の解析結果と修復方針

【東護岸と余芳周辺の庭園要素ごとの根拠資料の解析結果と修復方針一覧】

庭園要素				絵図		発掘調査結果	修復方針	整備に向けた課題
分類①	分類②	分類③	分類④	御城御庭絵図	尾二ノ丸御庭之図			
東護岸	池泉	石組護岸		石組	(同左)	タタキと石組を確認	・発掘調査結果に基づき絵図を参考に復元整備	・水張に伴う、給・排水方法、遺構(石、タタキ等)の保護方法、止水方法 ・復元する石組の位置と素材 ・周辺との摺りつけ(現況と遺構との標高差処理)
		中島		石組	(同左)	タタキと石組を確認		
		洲浜		中島の東 素材不明	御城御庭絵図と一部石組範囲が異なる。	円礫を確認 洲浜範囲不明	・発掘調査結果の構造と、絵図を参考に整備	・洲浜範囲の根拠
		沢飛び石		中島西側に 8 石	(同左)	中島西側に 8 石	・発掘調査結果に基づき、絵図を参考に復元整備	・遺構(石等)の保護方法
		木橋(太鼓橋)		太鼓橋 橋脚 6 本	(同左)	橋脚 4 本 橋台を確認	・発掘調査結果(橋脚、橋台位置)に基づき絵図を参考に復元	・詳細構造(寸法、部材等)の根拠 ・周辺との摺りつけ(現況と遺構との標高差処理)
		その他の橋		2 本橋	(同左)	(不明)	・絵図を参考に整備	・詳細位置や詳細構造の根拠
		階段		段石	(同左)	(不明)		
		構造物	灯籠	灯籠(雪見型)	(判断困難)	(不明)	・今後、絵図や史資料を解析し整備	・詳細位置や詳細構造の根拠
		植物	木本類	桜、杉、松	(同左)	(不明)	・絵図を参考に整備	・植栽することによる遺構への影響 ・詳細位置の根拠
地被類	(不明)		(不明)	(不明)	・樹種や詳細位置の根拠			
余芳園地	余芳(建造物)		四畳半、南側に縁側	四畳半、南側に縁側 北東角に縁側	(不明) ※解体調査記録あり	・解体調査記録に基づき復元	・詳細な平面位置の根拠 ・計画 G L 高を設定するための検討(発掘調査で確認された手水高を参考)	
	余芳周辺の園地	飛石		飛石	(同左)	(不明)	・絵図を参考に整備	・詳細位置、詳細構造(規模、構造、素材等)の根拠
		余芳周辺の築山と石組		余芳東側から北側の範囲で築山と石組	(同左)	(不明)		
		石組		余芳西側から洲浜の間の範囲 ※六角型の立手水鉢あり	(同左)	(不明)		
		構造物	余芳の手水	六角型の立手水鉢	(同左)	手水の基壇を確認	・今後、発掘調査結果を基に、絵図や史資料を解析し整備 ・今後、絵図や史資料を解析し整備	・手水の詳細構造の根拠
			余芳西側の手水	六角型の立手水鉢	(同左)	(不明)		・詳細位置、詳細構造(規模、構造、素材等)の根拠
			枝折戸	北・西・南の 3 カ所	(同左)	(不明)		
			灯籠	灯籠(春日型、雪見型)	(同左)	(不明)		
			柵	南と東側に設置	(同左)	(不明)		
		植物	木本類	桜、楠、杉等	(同左)	(不明)	・絵図を参考に整備	・詳細位置の根拠
地被類	(不明)		(不明)	(不明)	・樹種や詳細位置の根拠			
周辺園地	飛石、延段		飛石、延段	飛石、延段 余芳の北側と権現山への園路形状が御城御庭絵図と形状等が異なる	(不明)	・絵図を参考に整備	・詳細位置、詳細構造(規模、構造、素材等)の根拠	
	石組		東護岸の北側	(同左)	(不明)			
	構造物	灯籠	灯籠(春日型、雪見型)	(同左)	(不明)	・今後、絵図や史資料を解析し整備		
	植物	木本類	桜、松、杉、紅葉、キササゲ等	(同左)	(不明)	・絵図を参考に整備	・詳細位置の根拠	
		地被類	(不明)	(不明)	(不明)		・樹種や詳細位置の根拠	



出典) 特別名勝・特別史跡 旧浜離宮庭園
中島橋(有効幅員約1.8m、橋長約16.0m)



名勝名古屋城二之丸庭園 東護岸と余芳周辺の修復平面図（案）

